

「水桜会だより」 2020 春号

水桜会会長 挨拶 内田 暖

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、水桜会活動にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

4月の水桜会の総会に当たりまして、現状の問題点を全てではありませんが提示したいと思います。

現在、大学水泳部は競泳チームと水球チームに分かれ一貫性の学校であるにもかかわらず、男子部と女子部の高等科・中等科との関係が薄い状況にあります。

高等科・中等科男子部も昔と違い別の室内プールで泳ぎ、大学生と接する機会は非常に希薄です。それにも増して内部進学する生徒は昔よりも相当数減っているのが現状です。

大学水泳部員が助手として初等科・男子部・女子部の沼津に参加することもほぼなくなり、泳力のある生徒を大学水泳部に勧誘することなど皆無です。

それと、大学水泳部卒業生の水桜会年会費納入率の低さが今後とても問題になってくると思います。学習院大学に進学せずに他大に進学しながらも水桜会に年会費を納めてくれている者の割合は、さらに低い状況です。毎年水桜会の会員数は増えて会費納入者も増えて然るべきところ、会費納入者数はほとんど変わっていないのが現状なのです。

現役強化の問題は、現在水球・競泳両チームともそれぞれ優秀な監督がとても多くの時間をかけて取り組んでくれています。それほど遠くない将来必ず良い結果が出ると私は信じております。この事に於いて、十分な経済的援助は水桜会としてできていません。

問題はこれだけではありませんが、できることから解決して卒業生の組織として水桜会が強固な会となりますよう前進していきたいと考える次第です。

総会の開催は《オール学習院の集い》当日、別紙「水桜会総会のお知らせ」の要項にていたします。

ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

※新型コロナウイルスの影響により、総会開催の有無を当日ご確認の上ご参加ください。(別紙参照)

日 時：2020年4月12日(日) 10:30~11:30

場 所：西1号館2階 213号室(例年通り)

2019 五部対抗水泳大会 (報告)

令和元年8月25日(日)恒例の五部対抗が行われました。

大学46名(水球24、競泳22)、男子部22名、女子部10名、OBOG19名という総勢97名の水泳部が勢ぞろいでプールサイドはいっぱいです。

ここ数年五部対抗もすっかり定着し、進行他スムーズに行われています。

男子部、女子部の高校生たちも競泳のレースばかりでなく、水球の試合も楽しみにしているようです。このイベントを通して将来大学水泳部に繋がってくれるといいですね。

唯一OB・OGが互角で戦うことのできる25m1分キッカリレースを楽しみにしているOBもいて、とても盛り上がります。しかし、やはり賞品は学生たちにとられてしまいますが……。学生たちのはちきれそうな若さは本当にすばらしいです。

今年(2020年)は、8月の最終日曜日の8月30日(日)です。どうぞ、ご参加ください。

水桜会副会長 正野 敬子(S50大)

大学水球部門

水球部門監督の辻井です。監督を拝命し早いもので今年4年目を迎えました。

水桜会役員、会員の皆様には日頃から大変お世話になっております。この場を借りて、御礼申し上げます。

水球部門は一昨年、昨年とリーグ戦3位という成績をおさめました。内容的にも毎年進歩しております。今年こそ、リーグ戦で2位以内に入り、念願のインカレ出場を実現させたいものです。

現在チームは選手9人、マネージャー6人という体制です。選手の人数が少ないのがネックですが、高等科から「水球をやりたい。」と希望している選手が2名入ります。持ちタイムも100FR54～55秒台、二人とも身長180台です。これから基礎を徹底的に身につけさせリーグ戦に間に合うようにしたいと思っております。

練習は、冬期2チームに分け明治大学、早稲田大学の練習に参加しております。大学から水球を始めた選手も400FR5分20秒前後で泳ぐようになってきました。経験者では4分台も3名おります。かなり泳力はつけてきたと思います。

3月中旬には目白での練習を始めます。合宿をやる他、5月にも遠征ができればと考えております。また、明治他1部チームとの練習試合やターゲットにしている国際武道大とも2試合程度試合を組む予定です。詳しくは、**Facebookの学習院水泳部OBのページ**などでご連絡をさせていただきます。

もう一つの課題である運動部らしい礼儀作法、態度などもようやく改善してきました。まだ足りないところもあると思いますが、諸先輩にもぜひお越しいただいて指導していただければと思います。今年もOBの皆様には引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

追伸ですが、今年は東京オリンピックが開催されます。水球男子はリオに続く出場、女子は開催国枠で出場します。男子の稲葉悠介に注目です。高校生時代から怪物と言われポセイドンジャパンの海外遠征でも強豪国に名前を知られる存在です。是非ご覧下さい。

ひょっとすると、ラグビーやバスケットについて水球もブレイクするかもしれません。

水球部門監督 辻井敏博(S51大)

大学競泳部門

本年も冬季期間の練習は男子中高等科及び女子中高等科、ルネサンス早稲田のプールをお借りして行っており、森本先生と山本先生をはじめ、関係者の皆様には日頃の感謝の気持ちを込めて、厚く御礼申し上げます。

今年も昨年同様に2月14日から18日の5日間で合宿を福島県のふじ旅館様に宿泊、郡山しんきん開成山プールで練習を行いました。水泳に集中できる良い施設でした。合宿では連日の午前と午後の2部練習で計8回の練習を行いました。昨年とは違い今年は早い段階から耐乳酸トレーニングを行っている為、昨年よりも泳ぎ込みとスピード強化の比率をスピード強化に寄せて合宿の練習を組み立てました。耐乳酸トレーニングを時間をかけてやることによってレース後半の踏ん張りが効くようになります。今夏に向けて最大限の力を発揮できることを期待しております。

最後に8月の関東学生選手権はもちろんのこと3,5,6月にもレースがある為、これからの練習はより一層レースに向けたものになります。選手達の結果に興味を持っていただければ幸いです。

競泳部門コーチ 村田陽甫(H26大)

男子部水泳部

中等科水泳部は、主将の矢島大智を中心として、週4回練習に励んでいます。昨年夏に行われました附属戦では、8月頭の強化合宿の成果もあり見事学習院が優勝しました。

高等科水泳部は、主将の松平齊喜のもと、週5回練習を行っています。数多くの公認大会に出場し、昨年11月30日～12月1日に行われました都5ブロック対抗では、50m自由形において1年の森谷優人が予選を勝ち抜き、決勝で23“95という好タイムを記録しました。公認大会での経験は必ず6月の附属戦にて発揮されると考えております。

中等科水泳部は来年度の附属戦での優勝杯死守、高等科水泳部は来年度6月の附属戦で優勝杯奪還、そして多くの大会新記録の更新に向けてそれぞれ精進して参ります。

最後になりますが、OBの皆様、水桜会の皆様には今後とも変わらぬご支援、ご声援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

男子部コーチ 松平 忠慶（大学競泳）

女子部水泳部

令和元年夏季の活動のご報告をさせていただきます。

8/7～11までは恒例の校内合宿を実施。今年度は高3の3名も参加。自ら練習に注力しながらも後輩を励ます場面が多々見られ、各人良い泳ぎ込みができました。

〈高等科〉

合宿明けの8/15,16に、高等科は十六校対抗に臨み、参加29校中7位の成績を収めました。16位以内の入賞が、のべ10名と、全員で戦う姿勢、戦力の底上げが実感できた良い大会となりました。十六校対抗は、アクアティクスセンターの開設に伴い、辰巳開催は2019年で最後となるかもしれません。

〈中等科〉

7/20,21都中学選手権は日程が終業式と重なり1日目は上位大会を狙う3名が、2日目は6名が出場。3年生が400IMで全中出場を決めました！

8/17～19に行われた全中本戦では同種目で21位。まだ伸びしろがありますので引き続き精進して参りたいと思います。

8/18の新宿区民大会では総合優勝。8/28の附属戦は111対88で勝利。(フリーレー、総合の二冠。)9/14,15の学年別では3年生が400Frで5位、50Baで4位入賞の成績を収めました。いずれの大会も夏の泳ぎ込みの成果が見られた良い大会となりました。学年別の後、チームは三役を2年生に引継ぎました。

2020年は東京オリンピック開催に伴い、夏季の各大会が施設、日程とも影響を受けますが、熱気を感じながら、良いシーズンとすべく精進して参りますので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

女子部コーチ 時谷 一滋 (S61 高)

水桜会女子部部門

残念ながら女子部部門の活動は活発になされているとは言えません。

今年からは、できるだけ皆様と情報を共有していきたいと考えております。

「プールさよならイベント」を開催してから随分と時間も経過いたしましたので、懇親会を開催して皆様とお目にかかりたいと存じます。可能ならば新プールで一泳ぎ…なんていかがでしょうか？

皆様からのご意見をお待ちしております。宜しく願いいたします。

女子部部門 渡邊マリ (S48 女子高)

水桜会情報は、桜友会 HP にも掲載されております。

桜友会事務局のご配慮で、「水桜会だより」「大学現役レポート」と「総会議事録」が掲載されております。桜友会 HP⇒(左下の) 輔仁会 OBOG 会⇒運動部⇒水桜会で、開けます。

また、桜友会では、「メールマガジンご購読のご案内」をいたしております。桜友会の最新情報がご購読できますので、どうぞ、HP内からお申込みください。

以 上